



# AUE News

2013年3月1日

第 57 号

編集・発行

愛知教育大学広報チーム

TEL 0566-26-2738

FAX 0566-26-2500



## 目次

- 行事予定(3月 1-15 日)
- トピックス
  - ・社会科学者が「でんきの科学館」でエネルギー・ワークショップ実践
  - ・卒業・修了制作展 2012
  - ・教育実践研究科 2012 年度修了報告発表会
  - ・第 2 回リベラル・アーツ Edu セミナー
  - ・海外招へい教職員による講演会(第 5 回)
  - ・混声合唱団第 43 回定期演奏会
  - ・個別学力検査等前期日程
- ・書道専攻 卒展
- ・エコキャンパスづくりプロジェクト 2012 年度成果報告会
- ・松田学長ら名鉄社長に要望書提出
- お知らせ・報告・投稿
  - ・国立大学協会が臨時学長懇談会と東海北陸支部会を開催
  - ・レポート集「平和と人権入門」12 冊目を発行
  - ・催しもの案内

## 行事予定(3/1-15 )

- 1 日(金) 外部評価委員会 (13:30～ 第三会議室)
- 4 日(月) 情報システム委員会 (10:00～ 第五会議室)  
代議員会 (16:00～ 第五会議室)
- 5 日(火) 役員部局長会議 (13:00～ 学長室)  
評価委員会 (役員部局長会終了後、学長室)
- 6 日(水) 総務企画委員会 (13:30～ 第二会議室)  
学生支援委員会 (13:30～ 第五会議室)  
大学改革推進委員会 (15:30～ 第三会議室)
- 11 日(月) 教授会 (13:30～ 第一会議室)
- 12 日(火) 役員会 (13:00～ 学長室)
- 13 日(水) 代議員会 (15:00～ 第五会議室)  
教育研究評議会 (代議員会終了後、第五会議室)

## トピックス

### 社会科学者が「でんきの科学館」でエネルギー・ワークショップ実践(2/17)

私たち社会科3年生は中部電力株式会社と連携し、小学生を対象にしたエネルギー・ワークショップを2月17日(日)に行いました。

参加者は中部電力ホームページにより公開募集した1～6年生の小学生とその保護者で、ワークショップは電気の大切さや各発電方法の特徴を知り、今後のエネルギー問題について考えることが目的です。午前は私たち学生も参加者に同行し、メガソーラーたけとよと武豊火力発電所を見学して、永崎重文所長から説明を受けました。午後は名古屋市中区伏見のでんきの科学館で模擬授業を行いました。



このワークショップを実施するにあたって、私たちは1年を通して5カ所の発電所見学を行うなど電気やエネルギーについての勉強を積んできました。自分たちで作った資料や実験を基に、日本のエネルギー事情を小学生にも理解できるよう分かりやすい説明を心がけ、子どもたちの興味・関心を引き出すことを意識してワークショップを行いました。

(初等・教育科学選修 3年 渡部紗千)

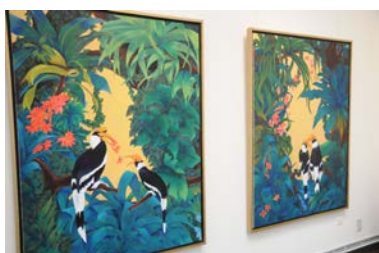
### 卒業・修了制作展 2012(2/20-24)

美術選修・専攻、造形文化コース、大学院美術専攻の2012年度卒業・修了制作展が2月20日(水)～24日(日)、刈谷市美術館で開催されました。

会場には、絵画、版画、彫刻、デザイン、工芸、染色、プロダクトデザイン、金工、ガラスの各研究室で制作した作品やパネル、美術教育の卒業論文など、学部生・大学院生計69人の120点余が並べられました。



トマトの木の成長と人々の結びつきを色鉛筆の優しいタッチで描いた絵本の原画、キャベツや草花を繊細なモノクロームで表現した版画、子どもたちと博物館をつなぐコミュニケーションの提案を紹介するパネル、蝶のモチーフのネックレスなどの金工、前衛的な陶芸の数々、糸を染めて織り上げたテキスタイルなど、木の風合いを生かしたおもちゃなど、個性あ



ふれる作品で、大学・大学院での学びの成果を発表しました。

20日には松田正久学長も会場を訪れ、出品した学生たちから作品の説明を受けながら、作品一つひとつを鑑賞し、「多彩な作品があって、見応えも十分」と感想を話していました。



### 教育実践研究科 2012 年度修了報告発表会(2/22)

教育実践研究科(教職大学院)の2012年度修了報告発表会が、2月22日(金)、名古屋駅近くのウインクあいちで開催され、愛知県教育委員会、連携協力校の関係者をはじめ、約150人に参加していただきました。



午前、基礎領域学生が4分科会にわかれて、午後は、応用領域学生が授業づくり、学級づくり、学校づくりの履修モデルごとに4分科会に分かれて、学生の修了報告と討議が行われ、2年間の学習の成果を発表しました。

基礎領域学生は、学校サポーター活動、教師力向上実習を基にして、自らの実践課題と成果および今後の教員像等についての発表をしました。応用領域

学生は、研修体制や児童生徒理解の組織的な改善、思考力・表現力を伸ばす授業方法や新単元への提案、キャリア教育、学級通信を生かした学級経営など、勤務校や現在の教育課題に対して、実践的な取り組みを基礎とした発表となりました。

分科会終了後の全体会では、来賓を代表して、愛知県教育委員会義務教育課、愛知県総合教育センター、連携協力校代表校長から、基礎領域学生、応用領域学生のそれぞれの成果と課題について、温い評価と励ましのご講評をいただきました。最後に、修了学生代表から、修了への感謝と4月以降のさらなる飛躍を誓う決意の表明がありました。

(教育実践研究科(教職大学院)教授 中妻雅彦)

## 第2回リベラル・アーツ Edu セミナー(2/22)

2月22日(金)午後1時30分より、第二人文棟で「ジェネリック・スキルの教育方法—授業実践報告に基づく検討—」をテーマとするセミナーが開催されました。ジェネリック・スキルの教育方法を検討することを趣旨に、本学教員の藤木大介講師(学校教育)上田崇仁准教授(日本語教育)に授業実践を報告していただきました。導入として、LAプロジェクトから、ジェネリック・スキルの教育目標や課題が示されました。



藤木氏は「ここからだ セミナー」において、多人数授業で学生をアクティブに受講させる方法として、毎回「理解」「知識」「教える」等のテーマについて調べさせ、小グループで意見交換してプレゼン資料を作らせ、秀逸な資料をピックアップし発表させるという方法を、学生のプレゼン資料と共に紹介しました。

上田氏は「国際社会と日本 セミナー」において、「国民性より個性が大きいことを知る」ということを教育目標の一つとして、留学生とほぼ1対1で話をさせ、同国の人と同じ意見を持つかを確認させるという方法を示しました。受講学生の反応も感想レポートの抜粋資料で紹介しました。

ディスカッションでは、物事に対する疑問を持たない学生にいかに関心を持たせるかという問いをめぐり、活発な議論が行われ、ジェネリック・スキル育成の根本課題をさまざまな角度から共有する機会となりました。

藤木氏は「ここからだ セミナー」において、多人数授業で学生をアクティブに受講させる方法として、毎回「理解」「知識」「教える」等のテーマについて調べさせ、小グループで意見交換してプレゼン資料を作らせ、秀逸な資料をピックアップし発表させるという方法を、学生のプレゼン資料と共に紹介しました。



上田氏は「国際社会と日本 セミナー」において、「国民性より個性が大きいことを知る」ということを教育目標の一つとして、留学生とほぼ1対1で話をさせ、同国の人と同じ意見を持つかを確認させるという方法を示しました。受講学生の反応も感想レポートの抜粋資料で紹介しました。

ディスカッションでは、物事に対する疑問を持たない学生にいかに関心を持たせるかという問いをめぐり、活発な議論が行われ、ジェネリック・スキル育成の根本課題をさまざまな角度から共有する機会となりました。

(教育創造開発機構大学教育研究センター リベラル・アーツ教育部門研究員 久保田祐歌)

## 海外招へい教職員による講演会(第5回)(2/22)

2月22日(金)、本学の国際交流センターは、協定校からの招へい教職員による講演会(第5回)を開催し、2011年6月に本学と学術交流協定を締結した韓国・光州教育大学のノ・ヒジョン准教授を講師に迎え、松田正久学長をはじめとする教職員が興味深く聴き入りました。

学校暴力といじめを専門とするノ准教授は、「学校暴力に対する道徳教育的な処方」というテーマで講演。学校暴力が深刻な社会問題化となっている韓国における学校暴力について、その定義や種類、原因などについて解説するとともに、道徳科授業におけるプロジェクト・アプローチを用いた予防方法について詳細に説明されました。

日本と類似した点も多く見られる韓国での学校暴力の状況について、参加者からは多岐にわたる質問が寄せられ、活発な質疑応答も行われました。

国際交流センターでは、台湾聯合大学の教職員2人による理系分野の講演会を3月下旬に開催予定です。





多くの教職員、学生の皆さんの参加をお待ちしています。

(教育創造開発機構運営課 国際交流担当 宮内春菜)

### 混声合唱団定期演奏会(2/24)

本学混声合唱団の第 43 回定期演奏会が 2 月 24 日(日)、名古屋市中区伏見の三井住友海上「しらかわホール」で開催されました。



毎年 3 月に行われる定期演奏会で、今年は 4 部構成。最初に愛知教育大学学生歌が披露され、第 1 部は混声合唱曲「うたよ!」でスタート。学生らしいさわやかな歌声を響かせました。第 2 部は「混声合唱のための おらしょ カクレキリシタン 3 つの歌」。厳かで力強い雰囲気のある祈りの歌を歌い上げると、客席から大きな拍手が沸きました。

第 3 部は演出付きステージ「世界はそれも愛と呼ぶんだぜ」。学生による原作、演出の青春ドラマ仕立ての舞台で、団員たちは奮闘。コミカルな演技で観客を沸かせました。

第 4 部は、客員指揮者に本学 OB の友森美文氏を、ピアノに OG の平松八江子氏を迎え、団顧問の橋本剛准教授(音楽教育)の作曲による混声合唱組曲「楽器のように」を全員で合唱しました。最後に団長の内間綾さんが「本年



度は愛をスローガンに掲げ活動してきました。これまで共に支え合い、認め合い、迷いながらも進んできて、今日皆さんに聴いていただくことができました。今後ご支援をよろしくお願いします」とあいさつ。演奏会終了後は団員たちがロビーで再び合唱し、次期団長の紹介も行われ、公演は無事に終了しました。

### 個別学力検査等前期日程(2/25, 26)

2013 年度入学の個別学力検査等前期日程が 2 月 25 日(月) 26 日(火)の 2 日間にわたって実施され、両日で 1,478 人が受験しました。

25 日は第一共通棟などを会場に、学科試験。午前 8 時前から制服姿の受験生が続々と訪れ、入口で受験票を職員に見せて試験室に向かい、試験に挑みました。26 日は体育や音楽、美術などの実技試験も実施され、両日とも特に混乱や事故がなく、無事に終了しました。

合格発表は 3 月 8 日午後 1 時から講堂で行われ、大学ホームページにも掲載されます。

### 書道専攻 卒展(2/27-3/3)

本学書道専攻十期生・書友会の卒展が 2 月 27 日(水)~3 月 3 日(日)、名古屋博物館で行われました。

今年卒業する 15 人の卒業制作作品を中心に展示。手本に忠実に書き上げる臨書、自由にアレンジする創書の計 20 点が並べられました。5 幅の大作から、巻物、額装など形態はいろいろ、題材も漢詩や百人一首、芭蕉の奥の細道、小林一茶の句など多彩です。





「100枚以上書いて、やっと納得のいくものができました。4月からは中学の国語の教員になります。大学で学んだ書道の面白さを子どもたちにも伝えられたら」と、作品制作を振り返りながら、今後の抱負を語りました。

卒業制作のほか、教員や卒業生、在校生の作品も展示され、来場者は個性あふれる書を楽しんでいました。

出展した学生は「子どものころから書道を習っていましたが、かなは大学に入ってから出合いました。自分で形にして自分なりの創作ができるのが魅力ですが、自由な分、難しかったです。芭蕉に興味があって、奥の細道を題材に。旅をイメージして、先生のアドバイスをうけながら、50枚以上書いて、やっとこの作品ができました」



### エコキャンパスづくりプロジェクト 2012 年度成果報告会 (2/27)

「環境研究と環境教育の融合によるエコキャンパスづくり」プロジェクトは、本学の特別経費事業の一つです(2011年度から2014年度の4年計画)。通称「エコプロジェクト」と呼んでいますが、本学の多数の教員がかかわり、教育大学としての特性を生かして、多様な環境研究と環境教育を展開しています。その目指すところは、先進的なエコキャンパスづくり、現代社会をサポートする技術開発、持続可能な環境づくりを担う教員・社会人の育成にあります。



その2012年度成果報告会が、2月27日(水)の午後1時から、1人の外部評価委員(環境省中部環境パートナーシップオフィスチーフプロデューサー、新海洋子氏)と2人の内部評価委員(折出健二理事、澤武文教授)の立ち合いのもとに大学会館で開催されました。

松田正久学長が「個々の研究がどうまとまり、大学がどう変わったか考えたい」とあいさつ、続いて13人の課題担当者が、それぞれの研究課題、教育課題について、今年度1年間の成果を報告しました。各報告について活発な質疑がなされ、報告の後、3人の評価委員からは鋭い講評をいただき、大変有意義な報告会となりました。

今回の成果報告会は、その成果を大学構成員にも知っていただくため一般公開としましたが、年度末の開催であったせいか関係者以外の出席は少なく、その点は残念でした。

松田正久学長が「個々の研究がどうまとまり、大学がどう変わったか考えたい」とあいさつ、続いて13人の課題担当



(保健環境センター長 三宅明)

### 松田学長ら名鉄社長に要望書提出 (2/28)

松田正久学長、折出健二理事(総務担当)は2月28日(木)、名古屋鉄道本社で山本亜土同社社長に会い、名鉄駅から本学へのアクセス分散化、バス料金の値下げなどを要望し、約50分懇談しました。学長は学生にとって主要な交通手段の利便性向上とともに、名鉄、バス会社と本学で公共交通機関のあり方などを連携して探りたいと新たな提案も行いました。懇談には稲垣隆司本学顧問も同席しました。

学長は本学が環境重視型キャンパスづくりを目指し、CO<sub>2</sub>削減のためにも自動車通学を減らし、より多くの学生に公共交通機関の利用を勧めたいとし、そのためにも前後駅から本学へのバス路線の新設や、集中する知立駅での乗客分散化、学生向け低料金の設定により、利用しやすくしてほしいなどとする要望書を手渡し、内容を説明。また、学長は「本学線をモデルとして公共交通





機関の利用を促進する方策を一緒に考えたい」と組織的な連携を提案しました。

山本社長は本学学生らが、名鉄、バスを利用していることに感謝の言葉を述べるとともに「渋滞緩和や環境に配慮して、大企業も従業員のバス輸送を始めている。経営的な課題もあるが、バスの運行などについてはバス会社に伝え、要望については検討させていただきます」と話しました。

なお、3月中には折出理事がバス会社社長と面談して、同趣旨の要望を行う予定で、本学への交通アクセスのさらなる利便性向上に向けて、役員レベルの交渉が続きます。

(法人企画部長 中原道文)

## お知らせ・報告・投稿

### 国立大学協会が臨時学長懇談会と東海北陸支部会を開催(報告)

2月4日(月)に、学士会館(東京)で表記会議が開催され、文科省の坂東久美子高等教育局長、吉田大輔研究振興局長、清木孝悦文教施設企画部長らが出席。2013年度予算案について、それぞれの担当局の概要の説明がありました。新政権では教育再生実行会議がスタートし、自民党では教育再生実行本部が始動している中で、大学政策は新政権でも大きく変わることはないことが予想されるが、高大接続を含む大学入試の在り方などに多大な関心があること、国立大学改革強化推進補助金(2012年度、138億円)は週内に決まる予定であること(※注)、補正予算を含む2013年度予算(案)の高等教育、研究振興、施設設備関係の状況について上記文部科学省関係者から説明がありました。



2月13日(水)には、東海北陸地区支部会議が金沢市で開催され、8大学長(代理2大学を含む)が出席しました。最初の2時間は学長による意見交換

で、「国立大学改革」の基本的な考え方について—国立大学の自主的・戦略的な機能強化を目指して—【第一次取りまとめ】(案)について活発な意見交換がありました。具体的には、国大協として研究総合大学とその他の大学という分類には基本的に反対であること、国大協として、この案はどこに提出されるものかという文書の性格、この案でも不十分なので、更に会員の声が反映される形で詰めていくべきだ、などの意見が出され、今後の対応を理事(名大・福井大)に委ねました。

また、ミッションの再定義では教員養成・工学・医学のすべての大学が対象となっており、現在の状況や意見交換の中身について情報を交換。最後にこれまでの年2回の支部会議を他支部と同様、年3回開催することを確認しました。

文科省の常盤豊高等教育局官房審議官と米澤聡司同局法人支援課課長補佐から、国立大学改革や2013年度予算案等について説明がありましたが、内容は学長懇談会と重複するので省略します。

(※注)2月4日に関係大学に通知があり、6日に会議が開催され、計画調書を2月14日提出しました。本学関係では北海道・東京(基幹大学)・大阪の各教育大学と共同で「大学間連携による教員養成の高度化支援システムの構築—教員養成ルネッサンス・HATOプロジェクト—」及び名古屋大(基幹大学)・三重大と共同で「アジアを中心とする国際人材育成と大学連携による国際化の加速度的推進」を提案、採択されました。

### レポート集「平和と人権入門」12冊目を発行(報告)

愛知教育大学共通科目「平和と人権入門」(1年後期)の授業の一環として作成しているグループレポート集を今年も作成しました。24あるグループ全部のレポートが掲載されています。はじめや出生前診断など学生たちが関心ある問題を追究しています。ただ、今年、2002年から11

年間にわたり作成された11冊のレポート集の目次と学生による各巻の巻頭言も併せて掲載しました。巻頭言を読み直すとこの授業が主題とした「平和」「人権」にかかわる問題を学内外で協働して学ぶ学生の姿が見えてきます。

また、この科目では、学生たちだけでなく、そのアドバイザーを務める本学教員も共に学ぶ醍醐味を味わってきました。そのことは、12冊目になる今回の冊子にも載せている「アドバイザーからのひとこと」に表わされています。アドバイザーは、各グループに一人ずつについて彼らの調査や議論へのアドバイスをする「平和と人権」担当教員（14人）です。彼らとかかわる中で、教員自身も気づけなかった視点や問題に気づかされることもあり、学生の純粋な視点やエネルギーあふれる行動力には毎年感心させられてきました。次年度からの教養教育改革に伴いこの授業科目は今年が最後になりました。

本学がかつて「平和学」を開講して以来、「平和」「人権」について学生が主体的に学ぶ場を提供してきた流れを記念する冊子です。（A4版186頁）

この件についての問い合わせは、下記へ。

メールアドレス：[tktutiya@aecc.aichi-edu.ac.jp](mailto:tktutiya@aecc.aichi-edu.ac.jp)



（コーディネータ 土屋武志）

## 催しもの案内

### ◆教職大学院 FD 全体会

3月1日（金）13：30～15：00

第一人共通棟 211 講義室

内容：① 実践報告

- 1) 実践的指導力を備えた新人教員を目指して
- 2) 教職大学院での学びを振り返って
- 3) 若手教師の語りを活かすカリキュラム改善の可能性

② 意見交換「愛知教育大学教職大学院での学びをよりよくするために」

問い合わせ：教育創造開発機構運営課 井成浩文さん 内線 2717

### ◆中学校版 理科実験プレ教員セミナー

3月4日（月）～14日（木）

自然科学棟

内容：4日 13：30～15：30 物理実験講座A（担当・児玉康一）物理実験アラカルトA（霧箱、ガラス単眼顕微鏡、兄弟電磁石）

8日 10：00～12：00 化学実験講座（担当・稲毛正彦）水の電気分解

13：30～15：30 地学実験講座（担当・戸田茂）自信を持って地震を伝えよう

13日 10：00～12：00 生物実験講座A（担当・菅沼教生）中学校でできるDNAの抽出実験

13：30～15：30 生物実験講座B（担当・澤正実）イカの解剖

14日 13：30～15：30 物理実験講座B（担当・岩山勉）物理実験アラカルトB（放射線測定、真空放電、電流と磁場）

申し込み・問い合わせ：理科教育講座 岩山勉先生

E-mail：[tiwayama@aecc.aichi-edu.ac.jp](mailto:tiwayama@aecc.aichi-edu.ac.jp)

### ◆小学校版 理科実験プレ教員セミナー

3月5日（火）9：00～17：00

自然科学棟

内容： 9：00～10：30 生物学実験講座（担当・澤正実）顕微鏡の使い方  
11：00～12：30 化学実験講座（担当・稲毛正彦）化学薬品と実験器具の取り扱いの基礎  
13：30～15：00 物理学実験講座（担当・岩山勉）電気の働き・利用単元の完全マスター  
15：30～17：00 地学実験講座（担当・澤武文）月の満ち欠けの完全理解  
申し込み・問い合わせ：理科教育講座 岩山勉先生  
E-mail:tiwayama@aecc.aichi-edu.ac.jp

◆愛知教育大学吹奏楽団 第56回定期演奏会

3月9日（土）17：00開場 17：30開演  
安城市民会館サルビアホール  
入場料・前売り300円、当日400円（未就学児無料）  
曲目：バレエ音楽「ロメオとジュリエット」、波の通り道、企画ステージほか  
問い合わせ： 所貴大さん TEL080・5168・1056  
<http://www.amy.hi-ho.ne.jp/twada/auewind>

◆愛知教育大学天文台 第80回一般公開

3月9日（土）17：00～19：30 入場無料、申し込み不要 雨でも講座・3D開催  
自然科学棟5階 地学538教室  
内容：17：00～ミニ講座「私の卒業研究から」  
「惑星はどうやってつくられる？」 「重量多体系による銀河の形状シミュレーション」 「NGC7769と7771の銀が衝突シミュレーション」  
18：00～観望会「木星観望会」、3D映像上映「3D宇宙の旅」  
問合せ：理科教育講座 天文学研究室  
TEL0566・26・2624  
<http://www.phyas.aichi-edu.ac.jp/index.html>

◆愛知教育大学管弦楽団 第78回定期演奏会

3月13日（水）開場17：45、開演18：30 全自由席800円（前売り700円）  
愛知県芸術劇場コンサートホール  
プログラム：A. ドボルザーク 交響曲第8番 スラブ舞曲第1番  
P. チャイコフスキー 幻想序曲「ロメオとジュリエット」  
問い合わせ：団長・魚崎さん TEL090・3441・3981  
<http://ameblo.jp/ae-orchestra>

◆第104回劇団ぱ〇 夢（ぱむ）卒業公演「アローン・アゲイン」

3月16日（土）13：00、17：00  
17日（日）11：00、15：00 前売り800円、当日1000円  
セツ寺共同スタジオ（名古屋市中区大須2）  
問い合わせ：ミウラさん TEL080・3638・8234  
<http://www.geocities.jp/gekidanpamu/alone-agein/top.html>

◆教育臨床総合センター 第3回講演会「子育てに悩んだときのヒント」

3月17日（日）13：30～17：00 参加無料  
名古屋国際会議場2号館 234会議室（名古屋市熱田区）  
プログラム：第1部 深津千賀子氏（大妻女子大学特認教授）基調講演「育児不安、児童虐待の親支援を考える」  
第2部 シンポジウム 指定討論者・深津千賀子氏、シンポジスト・祖父江典人、廣瀬幸市、三谷聖也、原田宗忠（本学教育臨床学講



座教員)

問い合わせ：教育想像開発機構 教育臨床総合センター 心理教育相談室

E-mail:t-sakai@aeucc.aichi-edu.ac.jp

### 編集後記

ようやく春めいてきたこの頃、学内の梅の花がやっと咲き始めました。この冬から、大学ホームページのトップページには季節を感じてもらえる学内の風景を掲載しています。イルミネーション、ツバキ咲くキャンパスときて、春のシーンは…。絵になる場所を探して学内を歩くと、見慣れた景色も違って見えるから不思議。日差しの暖かな“写真日和”に撮影に挑みます。(K)

### 投稿のお願い

学内外の出来事(教育・研究・地域連携・国際交流・学内事業など)に関するニュースの提供をお待ちしております。

メール:[kouhou@m.aeucc.aichi-edu.ac.jp](mailto:kouhou@m.aeucc.aichi-edu.ac.jp) 編集責任者:総務担当理事 折出 健二